

日本ロバロ株式会社 ひびき工場



世界最大の旋回ベアリングメーカーでありドイツに本社をおくローテ・エルデ社の日本法人。重量構造物の回転又は旋回部分に使用される大型旋回ベアリングの国内シェア7割を超えるリーディングカンパニー。
新たなエネルギー資源である風力発電機用等に事業拡大中。

プロフィール

● 代表者	代表取締役社長 富田 勉 ひびき工場長 淵上 清俊
● 所在地	北九州市若松区 1-111-1
● TEL	093-752-0686
● URL	http://www.roballo.co.jp
● 設立	2009年1月
● 親企業	ローテ・エルデ社(ドイツ)
● 資本金	7億4,000万円
● 従業員数	95名(九州工場・ひびき工場合計)
● 事業内容	旋回接続ベアリングの製造

九州進出のきっかけ、九州の印象

- 製造販売一貫体制の構築
 - ー原料メーカーである製鉄メーカーに製造委託していたが、製造販売一貫体制の構築を目指し、九州工場を設立(2000.12)。近年、風力発電設備メーカーから3m超の大型旋回ベアリングの大量受注が実現したことから、従来からの拠点である北九州市にひびき工場を新設。
- アクセスの良さ(インフラ、情報)
 - ー重量のある製品の特徴から、港湾に近いのは必須だが、人材が豊富なことや、既存の九州工場に近いことが決定要因となった。

日本では、1966年に販売会社としてスタート。1987年当社全額出資で日本エスアール(株)を設立し、羽咋市(石川県)の中小型の工場を、2000年には北九州市戸畑に大型ベアリング工場を設立。2003年日本エスアール(株)を統合し、製販一体体制となる。日本法人全体の従業員数は220名。

ビジネスの状況

- ロバロ旋回ベアリングは、重量構造物の旋回又は回転部において、全ての加重及びモーメントを一つの旋回接続ベアリングのみで吸収する。
- 港湾や造船所、船舶の荷役クレーン台座、トンネル掘削機の先端回転部などに使用されている。風力発電機の場合、当工場製品が羽の付け根、発電機の連結部の4カ所に使用されている。鋼材を歯切り、或いは鋼球を内包する回転部を形成するが、切削し検査を終え製品化するまで約3ヶ月を要する。当社製品は一度組み込まれると原則給油のみで可。
- 世界拠点の生産量で見れば、ドイツが最大で、日本・米国・中国が次のグループ。アジアでは日本と中国、インドに拠点があるが、日本法人の活動範囲は日本・韓国・東南アジア。中国は、中国国内と棲み分けがなされている。

今後の展望

- 課題に挑戦し新事業の拡大
 - ー静粛性や軽量化などの要求があるが、風力発電用の次に医療分野(CTスキャン等)での拡大を目指す。
- 地域社会からの人材確保
 - ー旋回ベアリングは、がたつかないことが必須であり、技能習得には5年ほどかかる。人材確保には製鉄メーカーの存在は大きい。製鉄メーカーに製造委託していた時代のノウハウやオペレーターなどを引継いでいる。



